



## 妊娠中の歯科治療いつ受ける？



### 妊娠初期

(4～15週ごろ)

歯科治療は極力避けましょう

赤ちゃんがお腹の中で形づくられている時期です。体調の変化やつわりがきつい時期でもあるため、歯科治療は極力避けましょう。とはいえ、気になる事があれば、気兼ねなくご相談ください。



4w

～

15w

### 妊娠中期

(16～27週ごろ)

歯科治療を  
受けるならこの時期！

お腹の中で赤ちゃんが成長し、つわりもおさまってきて、体調も比較的安定してきます。歯科治療はこの時期に受けるのが理想的です。お口で心配な事が無くても、一度歯科検診を受けておくとよいでしょう。



16w

～

27w

### 妊娠後期

(28週ごろ～)

歯科治療は

緊急でなければ避けましょう。

お腹が大きくなり、歯科への来院やチェアに横になるのもつらくなるため、緊急でなければ、治療は避けましょう。とはいえ、気になる事があれば、気兼ねなくご相談ください。



28w

～

## 妊娠中はお口のトラブルにご注意を！

### 女性ホルモンの分泌が増加

女性ホルモンの分泌が増加することによって、歯周病菌が増殖します。また唾液が酸性に傾き、唾液の再石灰化を促す力が弱まり、お口の中をきれいにする自浄作用も低下します。

### 生活習慣の変化

つわりで歯みがきがしにくくなったり、飲食物の好みが変わったり、食事や間食の回数が増えます。

- 虫歯になりやすくなる
- 歯や歯ぐきが敏感になる
- 冷たいものや熱いものがしみやすくなる
- 口臭が強くなる
- プラーク（細菌のかたまり）がたまりやすくなる
- 歯周病になりやすくなる
- 歯ぐきの炎症や出血が起こりやすくなる
- 歯ぐきが腫れやすくなる